

令和4年度 社会福祉法人春風会 事業経営基本方針

令和4年度は、以下の5項目を重点項目として取り組んでまいります。(要点のみを抜粋)

1. 利用者の人格を尊重し、職員の助け合う心と創意工夫の発揮、信頼される施設づくり

- ・利用者一人ひとりの人格を尊重した常に質の高いサービスを提供する。職員一人ひとりが夢と誇りを持って、楽しく生き活きと働ける魅力ある職場、遣り甲斐のある職場作りに全力で取り組む。

2. 職員の研修教育・キャリアアップ制度の充実、資格取得への支援と福利厚生への推進

- ・新人職員・中堅職員・リーダーの各種研修の充実・強化、とりわけ新規学卒者・中途採用者に対するトレーナー制度の充実を図り、人材の定着と育成を図る。
- ・入社3年目の職員対象の研修を継続実施し、更に職員の退職予防の為に5年から10年目の中堅職員の育成プログラムと支援策の確立を図る。
- ・リフレッシュ休暇や連続休暇取得への対応策、脳ドック・人間ドックなどの健康管理への支援策の推進。結婚や出産等で退職した職員の職場復帰支援や、妊娠中の職員も安心して働け、出産後、職場復帰ができる職場環境や企業内保育などを整備する。
- ・退職年齢65歳と70歳までの継続雇用に伴い、介護の仕事を分業化・細分化し、75歳から80歳までも働くことができる勤務内容や雇用形態を整備する。

3. 健全で安全な経営と職員のモラル・マナー教育の推進

- ・職員一人ひとりに法人職員倫理行動基準の周知徹底を図り、職員のモラルの向上を図る。
- ・法人接遇委員会の充実・強化を図り、職員のモラルや接遇マナー教育を更に推進し、人権擁護・虐待防止への取り組みと職員の人材育成に全力で取り組む。

4. 施設内委員会活動、科学的介護と穏やかな看取り介護の推進、栄養部門の改革、在宅事業の強化

- ・法人に新型コロナウイルス感染症対策委員会を設置すると同時に、各施設の感染症対策委員会・研修委員会等の各種委員会の取り組みを強化。介護事故ゼロへの取り組みと事故原因究明のための現場主義の徹底を図る。
- ・法人全体で科学的介護と穏やかな看取り介護の取り組みを推進する。介護の分業化の研究と看取り介護のマニュアル化・テキスト化を推進する。
- ・栄養部門は介護食や献立メニューの開発と配食サービスの拡充、クックチル調理法を使っの給食方法の導入を検討する。法人で食料品、介護用品などの一括購入・共同仕入れ、給食の下処理センターなどを検討する。
- ・デイサービスの作業マニュアル作成とサービスプログラムの開発、「座るデイから歩くデイへ」、ノルディックウォーク等の普及による健康寿命を延し、介護予防事業を推進する。デジタル技術を活用したデイトレ・ICTリハの考えも取り入れる。認知症デイサービスのプログラムの開発と介護予防・日常生活支援総合事業の推進。

5. 介護・保育・障害の福祉の魅力発信と福祉現場でのIT化の推進、生産性の向上を図る

- ・保育、介護記録の電子化、高齢者の見守りセンサーやベビーセンサーの活用、インカム無線機の導入など介護機器の積極的な導入、介護ロボットの活用、福祉現場の情報化・IT化を法人の全施設で推進する。
- ・労働人口の急激な減少に伴い、福祉現場でも生産性の向上を推進することが求められている。限られた職員配置の下、いかに効率的・生産的に仕事を回すかを模索し、サービスの向上・質の向上を図っていく。
- ・付加価値のあるサービス提供、買い手本位の発想を常にとる。利用者・家族が抱える問題点を探し出し、それに応えるサービスを提供する。